

防災科研ニュース

2013 Winter No.183 (C) 独立行政法人防災科学技術研究所

特集

- J-SHISアプリ
- もしゆれ
- 「地震」で身近な地震を計ってみよう
- iPhoneで震度*がわかるアプリ「震度」

行事開催報告

- 東京国際消防防災展2013
- 内閣府副大臣らがつくば本所を視察
- 防犯防災総合展 in KANSAI 2013に出展
- 損傷を受けた鉄骨建築物の震動台実験の公開

受賞報告

- 納口契約専門員が2013年度日本雪氷学会功績賞を受賞
- 中村任期付研究員が日本気象学会奨励賞を受賞

提供元] 独立行政法人 防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域

特集 アプリでの情報発信

最近のスマートフォンの普及はめざましいものがあります。私はまだいわゆるガラケーを使っていますが、まわりの多くの人、特に若い人はほとんどがスマートフォンを使うようになってきました。スマートフォンは、次世代多機能携帯端末として確固たる地位を築いたようで、家電製品の大型量販店でも目立つところに置かれているようです。

総務省の調査結果によると、H24年に於いてはパソコンやガラケーの世帯保有率は横ばいからむしろ減少傾向になっておりますが、スマートフォン保有率は飛躍的に伸びており、50%に達する勢いです。

防災科研では、これまでパソコンによるインターネットの普及に対応し、従来の紙面だけでなくWebでも様々な情報発信を行ってきました。Webによる発信は、即時性があり、

またデータが大きく動きを伴うものでも表示することが出来る特徴を利用し、防災科研の機器で観測された降雨、降雪の状況、地震や火山のデータ、シミュレーション結果などを公開し注目を集めております。

しかし昨今のスマートフォンのめざましい普及を踏まえ、どこでも手軽に利用できるという特徴を考慮した新しいアプリでの情報発信についても、現在充実させているところですが防災科研ニュース冬号は、アプリでの情報発信として4つの取り組み (J-SHISアプリ、もしゆれ、i地震、i震度) を取り上げ、特集号とさせて頂きました。各記事にはQRコードも記しておりますので、まだ使ったことがない方もこれを機にお使い頂き、使用感などをお知らせ頂けると幸いです。また、周りの皆様にも是非ご紹介下さい。

防災科研ニュースに掲載された記事につきまして、ご意見・感想を募集しております。①発行号のNo.、②記事名、③投稿者の所属・氏名、④Web掲載の場合の匿名希望の有無、を明記の上、k-news@bosai.go.jpまでメールにてお送り下さい。お送りいただいたご意見・感想は執筆者にフィードバックいたします。また、当所のWebにて、ご紹介させていただく場合がございます。